

カピバラ「華」の死

1月4日に、カピバラの「華」(雌)が9歳2カ月で生涯を閉じました。平成24年度の動物園代表動物に当選したモルモット「ポポ」の公約「ネズミの仲間を増やしたい」を實行するため、同年7月に「埼玉県こども動物自然公園」より生後9カ月で来園。翌25年に「光」(29年1月、5歳で没)を迎え、16頭の子宝に恵まれました。

飼育員 日誌



長野・須坂市動物園

カピバラフ
アミリーが、
温泉につかっ
ている様子は
多くの来園者
を和ませてく
れ、夏に開催
したふれあい
も大好評でし
た。9年間に
わたり私たち

子供たちを見守っていてね

飼育員や、多くの来園者に和みや癒やしを与え、動物園の繁栄に大きく貢献しました。

翌日から17日まで、献花台を設置しお別れノートを用意しました。来園者の方からお悔やみのメッセージや子供たちのイラストをたくさん頂きありがとうございました。

華は、光や先に逝った子供たちと、残ったカピバラ兄弟―写真―や動物園を見守っていてくれると思います。天寿を全うした華ちゃん、長い間ありがとう。ご冥福をお祈りします。(カピバラ担当 羽生田実)

